

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/09/ 06～2017/9/31)

1. 勉学の状況

9月13日から induction week というオリエンテーションやウェルカムイベントの週が始まり、18日から授業がスタートしました。最初の週はアイスブレイキングのための課題が出て、2年生3年生留学生が混ざったグループで1分間の動画を作るというものでした。動画の内容は New と Place という二つのキーワードが盛り込まれていればあとは自由で、私たちの班はスパイ映画の予告編風の動画を作りました。もともと動画編集は得意だったこと、チームメイトの一人が日本好きでとても親切だったことから、言語面での自分の未熟さを感じつつもスムーズに進めることができました。

26日からは「BRAND X」という新しいプロジェクトがスタートしました。この授業はグループで行うブランディングのプロジェクトで、私たちのグループはリビングに関わるブランドを作ることになりました。グラスゴー芸術大学ではリサーチ重視型の授業を行うと聞いていたのですが、本当にその通りで、毎日グループで集まってはとて多くの時間をリサーチやディスカッションに費やし、他のグループや先生と意見交換をしてはフィードバックをもらう、ということを繰り返しています。ディスカッションでなかなか聞き取れなかったり、言いたいことが言えなかったりと困難を感じることは多いですが、まだ序盤なのでこれからどうなるかとても楽しみです。

また、講義型のイギリスのデザイン史についての授業をとっており、こちらも日本で学んだデザイン史の復習に加え、さらに深いところまで話を聞けるのでなかなか面白いです。最後に長文エッセイを書かされるらしいので一生懸命授業に臨んでいます。

ほぼ毎日10時5時でミーティングやら授業やらあるのでなかなか大変ですが、せっかくの機会ですのでこれを機にぐっとと英語力が上がればいいなと思いながら頑張っています。



▲授業の様子

2. 生活の状況

9月6日にグラスゴーにつき、運よく寮に入ることができたので、10日から Blythwood House というグラスゴー芸術大学の持つ寮に住んでいます。新しく、清潔で学校からも近いのでとても快適です。私と同じフラットには私を含め日本人が2人、中国人が2人とスウェーデン人が3人、マレーシア人が1人住んでいます。全員留学生で歳も近く、皆とてもいい人なので過ごしやすいです。

グラスゴーの家賃は高めですが、生活用品にかかるお金は日本と変わらないか少し安いぐらいです。外食は高いので基本的には自炊をしています。特に野菜やパン、乳製品がとても安く、中国人が多いためかアジアンマーケットも多く存在するので日本の食材も割高ですが簡単に手に入り、今のところ食に関してあまりストレスを感じていません。友達と互いの国の料理を作りあったりお酒を飲んだりして楽しく過ごしています。

気候に関しては日本より少し寒いですが、思っていたよりは寒くありませんでした。しかし雨がとても多く、晴れの日が少ないため、それだけ少し憂鬱に感じています。イギリス人は傘をささないと聞いていましたが、本当にさしてる人が少なくてびっくりしました。皆ウィンドブレイカーのようなフード付きの上着を着ていてそれでしのぐのがイギリス流なようです。私も傘をさすのが面倒になって最近ではフード付きの上着を持って出かけるようになりました。

まだまだ新しいことを発見しては驚きが多い毎日ですが、少しずつ慣れ、楽しくなってきました。これから徐々に寒くなるようなので冬に向けて準備しながら10月を過ごしていこうと思います。



▲部屋の様子と自炊の一例

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/10/01～2017/11/04)

1. 勉学の状況

9月から始まった私にとってこちらへ来て初めてのプロジェクトである Brand X が11月4日について終わりを迎えました。自分の力不足によりなかなか思ったこと、考えたことをそのまま解釈してもらえず、困難を感じていましたが、誰にでもわかるように図示するよう心がけたり、たくさん例をあげたりして少しでもわかってもらえるよう努力できたので最初のプロジェクトとしてはなかなか満足できる結果が出せたのではないかなと思います。最終発表はビルの1フロアを使って展示会形式で行われ、そのような経験も今まであまりなかったのでとても新鮮でした。また、ビール片手にプレゼンを聞いたり行ったりすることに至っては日本ではなかなかない感覚なので面白かったです。発表後は同じプロダクトデザインの友達と打ち上げパーティーをして終始楽しむことができました。



▲展示会の様子

2. 生活の状況

10月は勉学が忙しかった分、友人との仲が深まり、色々なところに遊びに行ったり、互いの国の料理を紹介し合うパーティーを催したりと遊びも充実していました。こちらの大学生の遊び方は外食やクラブなど外に行くことももちろん多いですが、それと同じくらいそれぞれのフラットでパーティーをすることが多いです。日本食を披露する会はだいぶ催したのでネタが切れて来ました。

また、スコットランド内の様々な場所にも遊びに行くことができました。スコットランドの首都エディンバラに向き、城や博物館を見て周ったり、フィンランドに留学中の友人がグラスゴーまで遊びに来てくれて一緒に TENNENT'S というビールのブリュワリーへ行ったり、グラスゴーから2時間ほどかけて電車やフェリーに乗り継ぎしてアラン島に行ったりととても楽しい休

日を過ごすことができました。スコットランドには小さな島がたくさんあるのでこれからもっともっと色々な島に遊びに行きたいと思います。



▲フラットパーティーでの食事
のフェリーと景色



▲エディンバラ城



▲アラン島で

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/11/05～2017/12/05)

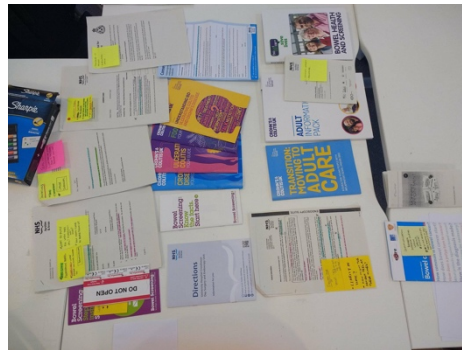
1. 勉学の状況

グラスゴーに来てからの初めてのプロジェクトを終え、今月から新たなプロジェクトがスタートしました。今回のプロジェクトはNHS(National Health Service)というイギリスの国民保健サービスとコラボレーションして行うもので、そもそも NHS とは何か、どのような仕組みなのか、どんな問題点を抱えているのかを理解するのが大変でした。医療系の単語が非常にわかりにくく、辞書片手にリサーチを行いました。

今回のプロジェクトの幹となるテーマは Endoscopy(内視鏡検査)で、現状の内視鏡検査において直前のキャンセル率が高いこと、検査のための待ち時間が長いことなど、内視鏡検査に置いて挙げられる様々な問題点を取り上げ、解決を図るのが今回の課題です。2回の病院の視察と様々な資料での文献調査を行い、患者と病院スタッフのマッピングをして時系列に沿って問題点を考えました。私のグループは内視鏡検査前に送られてくるインフォメーションパックの再構築を行っています。



▲見学先の病院の様子



▲デスクリサーチ

2. 生活の状況

グラスゴーもだんだんと気温が下がり、本格的な冬になって来ました。そのせいかこちらに来てから初めて体調を崩し、しばらく寝込んでいましたが、親切なフラットメイトに恵まれたおかげで回復することができました。こういう点を考えると家賃は高いけれど学校からすぐ近く友達に恵まれる寮暮らしを選んで本当に良かったと実感しました。

相変わらず平日は朝から夕方までずっとプロジェクトに従事し、週末はフラットパーティーに行ったり、小旅行をしたりと楽しく過ごしています。先日はスコットランドの伝統的なダンスパーティーである Ceilidh (ケリー) に行ってきました。Ceilidh は簡単に言えばフォークダンスのもう少しテンポの早くなったものという感じで、男女関わらず色々な人と踊れるのでとても面白かったです。Ceilidh にはご年配の方も多く来ていて、皆おしゃれをして得意気に踊っていたのでとても素敵な文化だなあと感じました。グラスゴー生活も残り少なくなって来たのでこのような文化に触れる体験に積極的に参加していこうと思います。



▲Ceilidh の様子

イー



▲フラットパーティー

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/12/06～2017/1/05)

1. 勉学の状況

先月から続いていたNHS(National Health Service)とのプロジェクトもついに最終プレゼンを迎え、半ばから冬休みに入りました。Glasgow School of Art での学校生活もついに休み明けの最終週のみになります。今月は最終プレゼンの準備に追われていましたが、グループのメンバーが非常に協力的でしっかりしていたため、忙しかったもののスムーズに発表を終えることができました。周りからのフィードバックも好感触なものが多かったのでなかなか満足したできとなりました。いよいよ残りの生活でもう一度病院の人たちの前でのプレゼンがあるのと、最終成果物として活動をまとめたPPJ(Personal Project Journal)を作るのみとなります。次の学校の授業計画を提出したり、VISA を調べたりするうちにもうすぐ半分終わるんだなぁと感慨深い気持ちになりました。次の学校の下調べをしつつ、残りわずかなグラスゴーの生活を充実させようと思います。



▲ 私の担当冊子の一部

▲私のグループの最終成果物

2. 生活の状況

12月に入り、街はクリスマスモードが全開になりました。週末には友人と夜行バスに乗ってロンドンのクリスマスマーケットに遊びに行き、ロンドン流のクリスマスシーズンの遊び方を体験しました。冬休みは日本から母が遊びに来たことから始まったのでなかなか楽しいスタートが切れました。私もまだ行ったことがなかったハイランドにある街へ遊びに行き、ウィスキーの蒸留所を見学したり、エジンバラで宮殿の見学をしたりと、両方とも楽しく、またイギリスという

国を知るのにとってもいい機会でした。驚きだったのは、私たちの世代にとって、日本では友人や恋人と外で過ごすのが多いクリスマスに全くと言っても過言ではないほど人が歩いていないのと、お店がやっていないことでした。友人たちも皆それぞれの国に帰り家族と過ごすと言っていたので、ヨーロッパに住む人々にとってクリスマスは家族とゆっくり過ごすための時間なのかなぁと思いました。反対に新年を祝うのは外に出てパーティーをするのが多いようで、私の住んでいるところは街中なので一晩中外から騒ぐ声が聞こえていました。同じことを祝うのにも文化でこうも違うのかとなかなか面白い経験の一つとなりました。



▲ロンドンのクリスマスマーケット
にて



▲ハイランドのウイスキー蒸留所

海外派遣留学プログラム月間報告書 (報告期間: 2017/1/06~2017/2/05)

1. 勉学の状況

年が明け、NHS Projectの最終週をもってGSAでの学生生活が終わりました。最終週にはフィールドワークを行った病院へ出向き、医者や看護師、スタッフの前で最後のプレゼンテーションを行いました。また各々のグループの過程を綴ったブログと成果物の載ったサイトの完成、フィードバックのまとめ、そして個人の活動記録であるPPJ (Personal Process Journal) の製作を行いました。今までのプロジェクト(Brand XとNHS) との過程をそれぞれ40ページ程度の冊子にまとめたのでかなりボリュームがあり大変な作業でした。もう一つとっている座学の授業の方も2000語のエッセイを提出しなくてはならなかったもので、こちらへ来て初めての長期休暇である冬休みにはしゃぎ、遊び通して全然手をつけなかった私が悪いのですが、久しぶりに徹夜したり寝落ちしたりとかなりハードの週となりました。

しかし、PPJを作ってみて改めて自分の調査の考察や人との視点の違い、考え方の過程をたどることができ、自分頭の中を可視化して残しているようで作っている途中にも様々な気づきがありました。日本ではポートフォリオに載せると決めた作品に、しかも作ったずっと後にしかきちんとした見直しを行っていなかったもので、どの作品であっても、今後は終わった後にまとめを作ろうと思いました。



▲病院でのプレゼンの様子



▲最終評価のための展示

2. 生活の状況

GSAでの生活に区切りがついたので、今月は主に次の学校に向けて準備をしていました。中でも大変だったのがPOLIMIの留学に必要なVISAについてです。もし今後私と同じようにGSAからPOLIMIもしくは他のイタリアの大学への留学を希望する人がいたら共有したいので特記させていただきます。私はGSAでの留学に事前にVISAを申請する必要なかったので(日本人ならイギリスは半年までの留学は入国の際にVISAをゲットできます)、今回の申請が初めてでした。怖かったので12月からメールを送って準備していたのですが、イタリア人の気質なのか、エジンバラのイタリア領事館の職員の問題なのか、メールがなかなか返って来ませんでした。

Webサイトにはイギリスの大学に在学する人向けに必要な書類が書かれているので、いくつかの書類について疑問点があり、その問い合わせを行いたくて何度もメールをしているのになかなか返事が来ず、最初はまだ時間的余裕があったので待っていたのですが、結局年が開けても返事がなかったので、エジンバラまで直談判しに行きました。しかしメールできけと追い返されそうになり、返事がないからわざわざ来たんだと伝えるとそれからようやくスムーズにメールの返信が来るようになりました。そこからやっと用意すべき書類がわかったので事務の方に頼んで書類を作成してもらい、予約をとってまた領事館まで行き面接をし、いくつか修正が必要だと言われ、また書類を作成し直してもらって提出。3度目の訪問にしてようやく今日VISAを受け取ることができました。初めてメールをしてから一月半ほどかかりました。なので今後エジンバラのイタリア領事館からSTUDY VISAを申請する人がもしこれを読んでいるなら本当に早めの行動をお勧めします。

申請中はパスポートを預ける必要があり、国内から出ることができなかったので、日本から遊びに来てくれた友人とロンドンやエジンバラに出かけたりしていました。VISAの不安でいっぱいだったものの、友人のおかげで楽しく過ごすことができました。

VISA申請のために延ばしていたグラスゴーの滞在も間もなく終わるので、学校が始まるまで旅行をしつつミラノに移ろうと思います。グラスゴーを離れるのは悲しいですが、新しい土地での生活にとってもワクワクしています。イタリア語の勉強も始めました。残りの半分の留学生活もより一層良いものになるよう努めたいと思います。



▲タワーブリッジ ロンドンにて

海外派遣留学プログラム月間報告書 (報告期間: 2018/2/06～2017/3/05)

1. 勉学の状況

ようやく取得したVISAを手に20日からイタリア、ミラノに移りました。21～23日はWelcome weekで、Politecnico di Milanoでの基本的な設備の説明や歴史、イタリアの文化についての説明を受けました。26日からいよいよ授業が始まり、私はProduct develop design studio, Technologies for the fashion product, Design fundamentals の3つを受講することに決めました。

【Product develop design studio】

千葉大学でとっていた工業デザインの授業の進化版という感じで、エンジニアリングのことまでよく考えてデザインを進めて行く授業です。4人でのチームワークで、私はデザイナー出身の人とエンジニア出身の人がうまく集まったチームに入れてもらうことができました。テーマはそれぞれが選んだ家電のデザインで、私のグループではHalogen cookerという簡易型オーブンのような物を選びました。

【Technologies for the fashion product】

初めてのファッションの授業です。これはコースとは関係なく私の趣味で取りました。実際のスタジオ見学やデザイナーの公演を通して生地知識や流通、原価率などを考えて最終的に自分のコレクションを作るファッションのマーケティングの授業です。これは個人ワークで、工場や事務所などの見学が多くできるようなのでとても楽しみにしています。

【Design fundamentals】

デザインのムーブメントやスタイルを学び、そこからそれぞれのムーブメントやスタイルがどのように影響を及ぼしているかを考察していく授業です。グループでそのトピックについて紐解いて行き、最終的に個人でエッセイとして提出しなくていけないので意外と重そうだなと感じています。私たちのグループはミニマリズムをトピックとして選びました。ミニマリズムとは装飾的要素を最小限に切り詰めた簡素な形式のことです。



▲Halogen cooker



▲ミニマリズムのイメージ

2. 生活の状況

今まで特に大きなトラブルなく過ごしてきた私でしたが、ついにミラノ暮らしの洗礼を受けることになってしまいました。ミラノでは本当にスリが多いから気をつけるんだよと散々言われていたのにも関わらず、油断が出たのかケータイを盗まれてしまいました。幸いにも友人が使っていないケータイを貸してくれることになったので今は受け取り待ちですが、まだ慣れていないミラノの街をケータイなしで歩くのはなかなか辛く、昔の人はさぞ苦労したんだろうなと痛感しております。早く受け取って通常の暮らしを手に入れたいです。とにかく気軽に連絡取れないのやカメラが使えないのが辛いです。

しかしそんなことがありながらも、新しい環境では親切な人もとても多く、新しい友人も徐々に増えてきて、友人宅での食事に招かれたり、日本文化についてたくさん質問されたり、嬉しくも楽しくもなることが増えてきました。早くもっと仲良くなって一緒に出かけたりしたいなと思っています。

日本では春休みになったことで、友人が遊びにきてくれて一緒に観光したり、久しぶりに素敵なレストランに行って美味しい料理とお酒を楽しんだりと厳しくも楽しくもある月となりました。



▲ミラノのドゥオーモ

海外派遣留学プログラム月間報告書 (報告期間:2018/3/06~2017/4/05)

1. 勉学の状況

ミラノでの生活にもだいぶ慣れてきました。授業もそれぞれ中間発表に向けて進み、面白くなってきました。

【Product develop design studio】

これまでの進捗を発表する、こちらへきて初めてのプレゼンがありました。現状のデザインについての分析や問題点をあげ、それをどのような方針でリデザインしていくかの発表を行いました。プレゼンボードのテンプレを任せられ、資料については力を入れて作ったので満足したのですが、発表で緊張してしまったこと、ギリギリまで作っていたためにあまり練習ができなかったことから、上がってしまい、自分のパートを上手く話すことができませんでした。次回の中間発表ではよく練習して臨みたいと思います。

【Technologies for the fashion product】

念願であったフィールドワークを行いました。ミラノで有名なおしゃれ地区にある、数千もの革のサンプルがあるファッションスタジオを訪れ、見学して講演を聞き、世界のファッションの中心地と言えるミラノで勉強していることを改めて実感しました。魚の革や鳥の足の革など、予想外の革のサンプルを見て、驚きと新しい発見がたくさんありました。

【Design fundamentals】

論文やケーススタディなどでミニマリズムについてのリサーチを続けていますが、抽象的な説明などなかなか理解しづらいものも多く、最終的にこれが一番ネックになりそうだなと思う授業になってきました。エッセイを書くのが今から少し憂鬱です。



▲訪れたファッションスタジオの様子



▲実際に製品を使っでの分析

2. 生活の状況

先月に引き続きたくさんの方々が遊びにきてくれ、素敵なレストランに行ったり、日本食のお土産をくれたりして食生活が豊かな月となりました。また、遊びにきてくれた友人たちとミラノの観光をしたり、ベネツィアに日帰り旅行したりと充実した時間を過ごすことができました。

チームメイトとも段々仲良くなってきて、一緒に今ミラノで話題のブラジル風のお寿司を食べに行ったり、美味しいお店を教えてもらったりと学校生活もとても楽しくなってきました。

徐々に陽も長くなって来たので外に出る時間も増え、順調にイタリアでの暮らしに慣れつつあります。

月末にはイースターを迎え、学校が一週間ほどお休みになったので、かねてからずっと行きたかったアイスランドへ旅行して来ました。春の陽気になりつつあるイタリアと比べて少し寒かったですが、雄大な自然を感じ、リフレッシュするいい旅行となりました。物価はとても高く、何を買うにも少しためらいますが、人は暖かく、何よりどこへ行っても最高の景色が見られるのでアイスランドへの旅行ぜひおすすめしたいと思いました。



▲ベネツィアの街並み



▲アイスランドで訪れた氷河湖



▲グトルフォスの滝



▲ブルーラグーン

海外派遣留学プログラム月間報告書 (報告期間:2018/4/06~2017/5/09)

1. 勉学の状況

授業の3分の2が終了し、最終プレゼンに向け具体的にアウトプットを進めています。また欧州最大級のデザインの祭典であるMilano Design Week “Salone del mobire”が4月半ばに催され、ミラノ市内各地で様々なエキシビションが行われていました。私は参加してはいないのですが学校としても参加していたようで、学生の作品が展示されていたり、また課外授業としていくつかの企業の展示を訪ねたりしました。

【Product develop design studio】

7日に中間発表が行われたため、自分たちが提案する製品について、内部構造や材料など参考にした製品をもとにかなり具体的に製品を設計しました。千葉大の工業デザインの授業はコンセプトが中心でアウトプットが終わっていたので、ここまで具体的に製品を考えたのは初めてでついて行くのに必死でした。技術的なことに関して日本語で話したとしてもきつとよくわからないことが多かったので、実用的な提案ができるようになるためにも材料やエンジニアリングに関する知識をもっと深めなくていけないなと強く感じました。

【Technologies for the fashion product】

引き続きデザイナーによる講演やフィールドワークを行い、提案するブランドを考えています。布や革に関する知識やファッションのマーケティングに関する知識が増え、今まで全く知らなかった分野なので新鮮で楽しいです。Design weekの期間中には新しい生地を開発している企業の展示を訪ね、開発中の生地を見せてもらったり、実際に話を聞けたりとなかなかない経験をする事ができました。

【Design fundamentals】

エッセイの執筆に向けグループでのディスカッションと個人でケーススタディの調査などを行っています。エッセイ提出が今月末なので憂鬱です。



▲生地会社”STONE ISLAND”の展示



▲STUDIOの中間発表のレンダリング

2. 生活の状況

前述の通り今月はMilano Design Week が開催されたため、街全体がとても賑やかで浮き足立った雰囲気でした。企業のエキシビションはもちろん素晴らしい見応えでしたが、トラムやバスがDesign weekの広告で装飾され、開催中は色々なスタンドなども出て、試供品を配ったり、ジェラートやお酒が売られていたり、ときにはただで配っていたりと街歩きがとても楽しかったです。同じく留学中の友達やグラスゴーの友達がSaloneを観に遊びに来てくれたので夜はレストランに行って近状報告をし合いました。

また、日もぐっと延びて今では夜9時を過ぎても明るいほどです。来た時よりも夜道が怖くないので少し夜出歩くのが楽しくなりました。

4月末には祭日でいつもよりも少し多く休みがあったので、再びヴェネツィアを訪ねました。今回は前は時間がなくて行けなかった、ベネツィアングラスで有名なムラーノ島、カラフルな街並みが楽しいブラーノ島へ訪れました。ベネツィアの中心街からフェリーを乗り継いで行ったので少し時間がかかったのですが、どちらもとても可愛らしく、素敵な島だったので行って本当によかったです。いる間にもっと色々なイタリアの街へ遊びに行こうと思います。



▲MILANO DESIGN WEEK の様子



▲ベネツィア・ブラーノ島

海外派遣留学プログラム月間報告書 (報告期間:2018/5/10~2017/6/11)

1. 勉学の状況

最終試験に向けてどの授業もラストスパートがかかっていました。なかなか忙しい日々が続き、大変でしたがどの授業のプレゼンテーションもなんとか終わることができました。

【Product develop design studio】

最終提案のためにチームでは全てのパーツのモデリング、図面とモックアップの制作、レンダリングを行いました。私は使っている3DCADの違うので主にモックアップ制作とレンダリングを主に担当していました。製造方法や材料まで細かく指定した提案を行ったのは初めてだったので実際に何か新しい電化製品を設計するのは本当に大変なんだなとよくわかりました。こっちへ来てから主流な3DCADはsolid worksかRhinceros、レンダリングはKeyShotで行っていることが多い(もしくは学校指定)のでもしこれを読んでいるGSAやPOLIMIへの留学を希望する人がいれば使えるようになっておくといいと思います。最終プレゼンではこれまでで一番スムーズに話すことができたのでよかったです。

【Technologies for the fashion product】

こちらは留学生活で唯一の個人課題だったのでプレゼンは少し緊張してしまいました。自分で服をデザインし、生産コストを考えつつ扱いやすさを考慮して生地を選び、実際にプロトタイプとして製造過程でかかるコストを含めて値段を計算して自分のブランドの2019年の夏ラインとして発表しました。ファッションコースの生徒に混じって取った授業だったので予備知識が他の人に比べてなく少し大変でしたが、高校時代部活で衣装の制作を行っていたので久しぶりに自分で服を色々考えるのはとても楽しかったです。生地や製造過程やマーケティングについて学べたので専門外ですが取ってよかったと思える授業でした。

【Design fundamentals】

エッセイの提出が辛かったですがなんとか書き切ることができました。プレゼンも満身に発表することができました。私たちのテーマは「技術の発達でミニマリズムを機能的にしているか」という質問だったのですが、それを証明するためにミニマリズムな流れを引いたいろいろなプロダクトをリサーチしました。今までに起こってきたデザインムーブメントを分析して考える機会なんて今までなかったのいい機会でした。



▲DESIGN STUDIOのプレゼンテーションの一部

2. 生活の状況

今月は兄の結婚式があったので弾丸で週末に二泊三日だけの帰国をしました。と言っても、京都で結婚式が行われたために、実家には帰らず東の間の京都旅行という感じだったゆっくりすることはできなかったのですが、兄を祝福し、久しぶりに日本料理を食べ、家族に会って幸せな時間を過ごすことができたので、行ってよかったです。

またスカラ座に大好きなバレエを鑑賞しに行ったりもしました。スカラ座では安いチケットは15€くらいからあり、スカラ座という素晴らしい劇場に気軽に行ける機会などもうなかなかないと思うので帰国する前にもう一度くらい訪れようと思っています。まだオペラを見たことがないのでぜひいるうちに見にいきたいです。

ミラノでの生活はあとわずかなのでミラノだからこそできることを楽しんで行きたいと思います。